

第19期 第4回 男女共同参画推進懇談会 会議要録

- 1 日時 平成31年3月12日(火) 午前10時～正午
- 2 場所 区役所本庁舎20階 交流会場
- 3 出席者 松井会長 井上副会長 岩脇委員 大橋委員 佐藤(敦)委員 小林(明)委員
小林(澄)委員 藤多委員 木谷委員 楠井委員 石塚委員 吉田委員 河原委員
佐藤(良)委員 西委員 濱田委員 鷲尾委員 堀委員 小西委員
事務局職員(人権・男女共同参画課長 男女共同参画担当係長 男女共同参画担当係員)
- 欠席者 川人委員 持田委員 丸田委員 山内委員 岩本委員
- 4 公開の可否 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 議題
 - (1) 会長 開会のあいさつ
 - (2) 議題
 - 第3回男女共同参画推進懇談会の会議要録(案)について 資料1
 - 「第5次練馬区男女共同参画計画」策定に向けての提言(案)について 資料2
 - (3) 報告事項
 - 「人権・男女共同参画に関する意識と労働実態調査」の結果について
資料3、資料3-1、3-2
 - (4) その他
 - 次回会議の日程
 - ねりまフォーラム2019 実行委員募集について 資料4
 - その他
- 9 参考資料
 - 別紙1 第19期 第3回 練馬区男女共同参画推進懇談会 会議要録(案)
 - 別紙2 「第5次練馬区男女共同参画計画」策定に向けての提言(案)(事前送付済)
 - 別紙3 「人権・男女共同参画に関する意識と労働実態調査」報告書
 - 別紙3-1 「人権・男女共同参画に関する意識と労働実態調査」<概要版>【区民調査編】
 - 別紙3-2 「人権・男女共同参画に関する意識と労働実態調査」<概要版>【事業所調査編】
- 10 配布冊子
練馬区男女共同参画センターえーるだより 第63号
すてっぷ 78号

1.1 会議の概要

○ 開会

会長第4回男女共同参画推進懇談会（以下「懇談会」）を開催する。

出席の状況と配布資料の確認を事務局から行う。

（事務局より出席説明、配布資料確認）

議事

会長それでは議題に入る。

議題 第3回男女共同参画推進懇談会の会議要録(案)について

会長第3回男女共同参画推進会議要録(案)を既に配布しているが、訂正はあるか。小さな修正は事務局で修正し、大きな修正は懇談会で確認してから修正する。現時点では誤字が2か所あるが、それを修正して、確定後、練馬区ホームページに掲載される。

議題 「第5次練馬区男女共同参画計画」策定に向けての提言(案)について

会長それでは議題 「第5次練馬区男女共同参画計画」策定に向けての提言(案)についてであるが、ご意見等のある方はお願いしたい。

委員31ページの課題1の7行目からの部分で「旧来の家族の理想像教育」という文言がある。この部分は以前削除した部分だったかと思うが、違う形で表現できないか。

会長今の意見の意図としては、国が実施しているものではあるが、この文言をそのまま使うのはいかかなものかということであると思う。文章的には問題はないが、「旧来の家族の理想像教育」という文言が重複している点などを踏まえ、例えば次のような修正案はいかがだろうか。7行目から8行目にかけての「旧来の家族の理想像教育とも言える」の文言を削除し、10行目の「旧来の家族の理想像教育」という文言は鍵括弧をつける。

委員そのようにお願いしたい。

会長今の件について、特に意見等なければそのように修正したい。他に意見はあるか。

委員最近ニュースなどでアフターピルについての話題が上がっている。11ページの施策への提言の部分で、性被害に遭ってしまった場合のアフターピルの使用や医療機関との連携などについて加えて欲しい。

副会長アフターピルの単語をどこかに入れればよいということか。

委員そのようにお願いしたい。

副会長検討する。

会長今の件で意見はあるか。なければ正副に一任していただき、修正を加える。審議時間を多めにとっていた関係で時間に余裕がある。急ではあるが、各部会の部会長もしくは副部会長から一言ずつお願いしたい。

委員第1部会の担当は目標 人権の問題としての男女共同参画推進へと目標 男女共同参画の実現に向けた推進体制の強化である。目標 に関しては、人権をテーマにしたことで、課題のところで「人権の尊重」をはじめに入れた。LGBTや外国人、高齢者、障害者などあらゆる人の人権尊重の推進ということに重きを置いた。またジェンダーについて、子どもころから家庭や学校で刷り込まれていくものであるため、小さいころからきちんと教育していく必要があることを強調した。目標 について、第4次の時と大きく違う点は、練馬区男女共同参画推進条例の制定についてである。他区で条例を制定して

いるところもあるため、他に負けないくらい、人権や男女共同参画について練馬区として推進していく必要があると思い、強調して書いた。

会長来年度作成する計画は区が作成するもののため、割と形式的になりがちではあるが、提言は私たちが勉強になったり、区民にとっていろいろなことを知る場になればいいと思う。こういった思いで作成したというところを各部会から発表していただければと思う。

委員第1部会の追加である。目標 については男女共同参画を推進するために、導入部分として人権問題を取り上げるのが一番適しており、必要なのではないかと考えた。必ずしも平等を望まず、現状のままが望ましいと感じる人もいるということも踏まえて、みんなが幸福感を感じられるような人権問題を考えるという思いで作った。目標 では、ここはもう少し力を入れて取り組んで欲しいということ盛り込んでいる。

委員第2部会の担当は目標 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進である。委員の方から自由に意見をいただいて、その意見から要素となる部分を組み立てて提言を作成した。前回の提言と大きく違っている点として、「男女共同参画」という言葉があると男女が対立していると感じられる部分があるが、「男性」「女性」という枠組みだけでなく、「男性」「女性」それぞれにいろんな事情の人がいて、男女どちらかに区別しにくい人もいる。いろんな人がバランスよく共に生活し、働くことが実現する社会にしていくためにはどうしたらよいかという視点を持って、皆さんの意見をまとめて提言を作成した。以上のことから目標 の提言の中には「男性」「女性」という言葉をなるべく使わないようにして、「ジェンダー」という言葉を使うようにした。ワーク・ライフ・バランスの部分で女性活躍推進について記載してしまうと、女性以外はいいのかということになるため、課題3のジェンダーに関わらずすべての人が輝く社会にというようにした部分が第2部会のこだわったところである。前回との違いでいえば、具体性をさらに追加した部分で、特に課題4の子育て支援については具体的な施設名や政策を挙げている。計画策定の際には抽象的な表現になると思うが、ぜひこの部分について考慮していただきたいと思う。

委員第3部会の担当は目標 あらゆる場での男女共同参画の推進である。区民の生活に密着したなかでの、身近なものから男女共同参画について考えていき、取りまとめをした。第4次の提言を踏まえつつ、我々がそれに対しどう思うかといったところもまとめた。私が気にしている点は、文章量と内容が具体的に過ぎていることについてで、文章をどこまで削り、どこまで抽象化するかが難しかった。

委員第4部会の担当は目標 暴力のない社会をめざしてと 生涯を通じたところとからだの健康の支援についてである。様々な問題がある中で、大変な思いをしている人たちを救うためにはどうしたらいいかというところで、いかに実効性のある提言を上げることができるかがポイントだった。また、提言を作成していくなかで自分自身もとても勉強になった。

会長なにか追加のご意見等はあるか。

委員第1部会の補足である。今回、インターネットの活用について評価させていただいた。提言の38ページでは男女共同参画応援サイトの充実について記載した。練馬区として、男女共同参画週間についてや、開催している講座の紹介などを載せた情報サイトを作成してほしいという思いで提言を作成した。

会長他にご意見はあるか(意見なし)。それでは、先ほどの文言の修正と追加の部分を修正するとして、「第5次練馬区男女共同参画計画」策定に向けての提言を確定させていただく。議題についてはこれで

終了となる。

報告事項

会長続いて報告事項に入る。「人権・男女共同参画に関する意識と労働実態調査」の結果について事務局から説明をお願いする。

事務局「人権・男女共同参画に関する意識と労働実態調査」の結果について説明する(説明省略)。

会長質問が1点ある。区民調査の住居地区を郵便番号で分けているが、それぞれの最寄り駅はどこか。もしくは大体の場所がどこになるのか。

事務局練馬区を縦横で切って4つに分けた際に、右上の光が丘等は郵便番号179の地区になり、右下の練馬や豊玉は176の地区、左下の石神井町等は177の地区で、左上は大泉学園等の178の地区になる。

会長調査結果について質問や意見はあるか。

委員前回調査との比較で主なものは何かあるか。また、東京都でも同じような調査をしているので、都と練馬区との違いも知りたい。

事務局前は人権に関しては区民意識意向調査と被ってしまうため、あまり載せていない。

事務局(総務部長)東京都との比較までできるかは分からないが、次回から前回調査との比較ができるよう努める。

委員区民調査と事業所調査は両方とも回収率が非常に悪い。事業所の方は答えたくないということで回収率が低いのは理解できるが、区民調査は回収率を上げる工夫をしなければ、良い資料にはならないのではないか。

事務局前回は比べると回収率は上がっている。前は30.3%の回収率であった。お礼兼督促のはがきを送付し、少しではあるが回収率を上げることができたと思っている。また次回調査の際にはさらに工夫を重ねていきたいと考える。

会長社会学の調査でも回収率は3~4割が現状である。こちらの質問事項がたくさんあるとそれに合わせて回収率も低くなってしまふ。技術的に難しいところではあるが、質問事項を減らしたり、書きやすいレイアウトに変えるなど工夫の余地がないわけではない。

事務局(総務部長)区としても回収率を6割7割に上げていきたいという気持ちである。区民意識意向調査と一緒に調査をかけることも検討したが、区民意識意向調査も回収率は3割を少し超えるくらいである。区全体の問題として回収率の向上について、今後さらに考えていかなければならないことだと思う。

委員SNSを使った調査が多くなってきている昨今、この手の調査もインターネット等で提出できるようにしたほうが良いのではないかと。ぜひご検討いただきたい。

委員区民調査の13ページの配偶者暴力被害経験の有無について、経験があると答えた人が少ないと思う。数字に表れていないだけで、実際はもっと言葉による暴力などの被害があるのではないかと考える。表に出てこない数字も拾えるようにして欲しい。

委員区民調査の方で確認したい事項がある。6ページの(5)の回答は「LGBT(性的マイノリティ)に対する人権問題を「知っている」と答えた方に、現在どのような問題があると思うかたずねたところ、」とあるが、この「知っている」と答えた方というのは、(4)で「知っている」と答えた人か。それとも、

4 ページ (1) で「LGBT 等の性自認、性的思考の問題」に関心があると答えた人か。

事務局 6 ページ (4) で知っているかと答えた人である。

委員 区民調査の 3 ページの性別のところ「男性」「女性」だけでなく「その他」を設けている。LGBT の問題がある中で、性別を 2 択にすることはもともとの調査の趣旨に反するというので、「その他」を設けられたと思うので、それはとても評価されるべきことだと思う。しかし、「その他」のところ性別無回答を載せることに問題があると思う。性別に無回答の方は、「男性」「女性」「その他」に分けると、この後の回答もずっと無回答が多い。性別無回答の方は調査に答える気があまりない人である。そういった人たちとこだわりを持って性別「その他」を選んだ人たちと一緒にしてしまうのは、データに歪みがしょうじてしまう。そうすると、6 ページの LGBT の認知度についての質問で、「知らない」と答えた人が性別「その他」の中で多いというのは不自然である。例えば、7 ページ (6) 人権尊重社会の実現のために区が取り組むべき施策として、「その他」の方は他の人があまり答えられないようなことを回答していたり、無回答が多かったりと特殊な感じがある。この特殊性のせいで、LGBT 当事者はこうして欲しいと思っているのに、当事者でない人は違うことを推進して欲しいと思っているというギャップとして捉えられかねない。そのため、集計表の中から「その他」と回答した人を別途除くか、あるいは「その他」の中から性別無回答を除くかどちらかにすべきである。この表では「その他」が 25 人であるが、11 以下であれば結果を示すべきではないという統計調査の指標がある。出している数値についてはとにかく但し書きをしておくのがよいと思う。事業所調査についても言えることで、無回答が 15% 以上だと、結果を公表しないほうがよいという指標がある。次回以降の調査の際に参考にしていただければと思う。無回答が多かった項目について削除をするか、そもそもの量が多いので、量を減らすか、インターネット等で回答できるようにするなど何かしらの工夫が必要であると思う。

会長 研究者の場合だと、出てきた調査結果で明らかにおかしい回答は論理的に除いて論文作成することがある。出てきた数値から本当に区民の意見としての数値を拾って、区民の生活を想像できるようにしていかなければならない。研究者の仕事でもあるので、すべてを区にやってもらうことはできないが、答えやすい調査になるような工夫は今後必要であると思う。

委員 先ほど意見も出たが、数字だけみると配偶者暴力を受けた人が少ないとだけ読み取れてしまう部分がある。数字の多い少ないだけではない、結果に対する総評のようなものはものを加える予定はあるのか。

事務局 (総務部長) 第 5 次計画を作る資料としてこの調査を行っているため、計画策定の際にはもちろん調査結果も参考にする。配偶者暴力の関係については区で配偶者暴力相談支援センターという独自組織をもっており、そちらで実態を把握している。アンケート結果と区で持っている数値にかい離はある。だからこそ、こういった施策が必要であるというように計画を作る作業を来年度行う。数字とは違う実態があるというコメントを入れれば、そもそも何のための調査なのかということになるため、総評を入れる予定はない。

会長 先ほどの私の発言は研究者の場合の話で、研究者は個人の名前で発表を行うので、主張等を個人の責任で載せることができる。行政の場合は誰が責任を負って載せるかということになるので、難しいと思う。他に質問等なければ報告事項を終わりにする。

その他 次回会議の日程

会長 次回の開催は5月31日(金)午前10時から正午とさせていただきたい。会場は区役所本庁舎20階交流会場となる。

その他 ねりまフォーラム2019実行委員募集について

事務局 ねりまフォーラム2019実行委員募集について説明(説明省略)。

会長 その他の意見等はあるか(意見等なし)。

(副会長から閉会の挨拶・省略)